

石川県剣連だより 剣風春秋

第55号

発行



一般財団法人
石川県剣道連盟

〒920-0811
金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号室
TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341
E-mail:ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp
URL www://ishikawa-kendo.com

能登半島地震から稽古の再開まで



鳳珠郡剣道連盟
会長 間庭喜久夫

令和6年のスタートである元日。能登半島を中心に最大震度7の大きな地震が発生しました。津波と余震の恐怖は今でも背筋を凍らせます。翌日、穴水町の中心部を歩いて見て回り、変わり果てた故郷の姿に「終わったな」とも思いました。そんな中、石川県内はもとより日本国内外より支援の手がさしのべられ、何とか日常生活を取り戻していききました。本当に感謝の念でいっぱいです。そして、今から振り返ってみますと、停電、断水と不自由な生活に耐えられたのは、剣道で鍛えられた精神力だったように思います。ここで負

けてはならない。もう一度頑張ろうと。

幸い、鳳珠郡剣道連盟の会員の無事も確認でき、何とか剣道の稽古を再開しようと考え出したのは3ヶ月を過ぎた頃からだったでしょう。ただ、体育館などの施設は全て避難所、救援物資置き場となっていました。そこで穴水町教育委員会にお願いをして、穴水町BG体育館の剣道場だけは確保できるようになりました。使用可能なのは7月後半からということで、地震からの復興祈念として暑中稽古会をする計画を立てました。そこで県剣連事務局長の倉先生に相談したところ、全面支援しますとの言葉をいただき、準備に入りました。

そして迎えた暑中稽古会。7月29日、31日、8月2日、3日の4日間。冷房設備の無い剣道場内は連日35℃を超える厳しい暑さとなりました。遠く金沢から南会長を

特集記事

- 2頁 復興祈念日本代表に学ぶ
- 3頁 都道府県対抗少年準優勝
- 4頁 八段に合格して(清田敬夫)
- 6頁 居合道・杖道招聘講習会

はじめ、多くの石川県剣道連盟の先生方が悪路はるばるはせ参じてくださり、連日30名を超える剣士が集い、久々に竹刀を交えることができました。参加した会員だけでなく、小中学生も元気に稽古ができました。剣道連盟の先生方から大いに復興へのエールをいただきました。改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



鳳珠郡剣道連盟の会員の中には生活再建のため、町外に転居を余儀なくされた人もいますが、この稽古会のことを胸にそれぞれの場で頑張っていく所存です。今後、交剣知愛をモットーに自己研鑽と後継育成を目指して努力していきたいと考えておりますので、引き続きご指導、ご厚情を賜りたく存じます。



能登半島地震復興祈念事業
 「世界剣道選手権日本代表に学ぶ」
 普及委員会

11月23日(土・祝)、中能登中学校体育館で、7月4日～7日イタリア・ミラノで開催された第19回世界剣道選手権大会日本代表選手3人による剣道授業が開催され「能登に元気を とともに、前へ。」をキャッチフレーズに、能登半島地震で被災した小・中学生を勇気づけました。



講師には、男子団体優勝・個人優勝の星子啓太選手(警視庁)と女子個人優勝の近藤美洸選手(警



視庁)、同じく日本代表で昨年の全国警察剣道選手権で個人優勝した金沢市出身の土谷有輝選手(大阪府警)が務めました。

はじめに、中学生による震災の経験と豪雨災害の体験発表があり、横井隆明県剣連少年育成副委員長司会の下、小・中学生150人が車座となり、憧れの日本代表選手とのプロローグ(トーク)の場が設けられました。

その後準備体操を行い、星子、近藤両選手が素振り、切り返し、面・小手、打ち込みの二本を見せ、全員で練習に入りました。土谷選



手からは「最初の発声を大切に」「攻めの姿勢を続けて」など間髪入れずに声かけ指導があり、会場はさながら熱気の渦に包まれました。休憩をはさみ、日本代表3人による模範立合が行われ、気迫のこもった一振りに会場を埋

めた一般来場者からは大きな領きも見られ、改めて代表選手としての風格を目の当たりしました。最後は、選手から子供たちへ1対1の指導稽古のプレゼントもあり、世界を制した一振りを目の前で体験し勇気をいただきました。



令和六年能登半島地震収支報告
支援特別委員会
義援金配分委員会

見舞金・義援金関係			配分関係		
	見舞金・義援金元	収入金額		配分関係先	支出金額
①	全日本剣道連盟	11,457,896 円	①	加盟団体・傘下組織	12,660,000 円
②	国内外剣道関係	1,403,451 円	②	県剣連事業補助	2,790,147 円
③	NTT 高木氏賛同者	1,144,000 円	③	会議費等	100,000 円
④	県内剣道関係	1,544,800 円			
	総額 (1/6 締)	15,550,147 円		総額	15,550,147 円

【剣道具関係寄贈】

- ① 小布施町スポーツ少年団より
少年用防具八組・小手四組他
- ② 秦野市 士道館道場より
小中学生竹刀新品56本
- ③ (公財)全日本剣道連盟より
剣道防具五組、稽古着・袴

配分については、6月に加盟団体他各方面から構成員13名で「義援金配分委員会(委員長南信廣会長)」を立ち上げ会議を重ね、監査委員の(公財)石川県スポーツ協会常務理事兼事務局長村戸徹氏、金沢文化スポーツコミッション副代表越村和史氏からは、貴重なお助言を賜りながら、9月7日(土) 第2回県剣連理事会、9月21日(土) 臨時評議員会を経て決議に至りました。

なお、会費免除(令和6～8年の三年間)は、団体会費が七尾市以北、個人会費が県内全域で罹災証明書を有する会員(郡市事務局承認)となります。

各郡市事務局におかれましては、大変な状況の中で重ねての被害状況調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

第19回全日本都道府県対抗少年
剣道優勝大会 準優勝 報告

9月15日(日)、舞洲アリーナにて開催されました中学生チームの結果を報告します。

◇予選リーグ

- 一回戦 石川 ②-1 愛媛
- 二回戦 石川 ①-0 宮城

◇決勝トーナメント

- 一回戦 石川 代②-2 鹿児島
- 準々決勝 石川 代①-1 千葉
- 準決勝 石川 ②-1 大阪B
- 決勝 佐賀 ③-1 石川



今年の中学生チームのほとんどは三年前の小学生チームに選ばれていた選手でした。コロナ禍で大会が中止になり悔しかった分、大いに力を発揮したように思います。また、7人のメンバーの中には「全中に出たかったけど出られなかった」「全中に出たけど力を出し切れず悔しかった」という思いをもっていた選手がおり、悔しさをパワーに変えて奮闘してくれました。

個々の技術力が高く、それぞれが場面に応じた的確な技を出し、チームの流れを考えた理想的な試合運びができていました。仲の良いメンバーだったのでチームワークが抜群でした。練習試合の時から試合のフォローを互いにし、負けた選手に対してポジティブな声掛けをするなど、監督としての出番があまりなかったように思います。大会当日もキャプテンの竹津を中心にチーム一丸となり、良い雰囲気づくりができ、それぞれの選手が各チームで培ってきた経験が活かされていると感じました。

〈報告者〉
監督 中西優登(中能登中学校)

「剣道八段に合格して」



金沢市 清田 敬夫

令和6年8月10日の審査会において、八段に昇段させて頂いたことができました。

これもひとえに、これまでご指導いただきました末平佑二先生、山下和廣先生、寺内泰良先生、宇波道連盟・金沢市剣道連盟の先生方、一緒に稽古に取り組んできた皆様、そして何よりも支えてくれた家族のおかげと、心から感謝しております。

私は幼い頃、身体が丈夫ではなかったため、母の勧めにより小学2年生の時、金沢中警察署において剣道を始めました。中学には稽古場所が無く、同級生の田中陽介君のお父様のご協力のもと、誠之館や鶴来道場に通り稽古致しました。金沢桜丘高校では末平佑二先生に指導を賜り、OBの堀内龍一先輩、内田健二先輩にも大変お世話になりました。その後、日本体育大学を卒業し県内の高校教員となり、初年度に全国高校総体、続いて国民体育大会が石川県内で開催

され、剣道の指導に明け暮れる日々が続きました。

四十代半ばで教育委員会に異動となり、剣道の稽古が思うようにできない日々が十年程ありました。五十代半ばで教育現場に復帰し、この時期に国民体育大会や教職員大会の大将として引き上げていただき、本格的な稽古に励むことができるようになり、八段審査を受けてみようと思い始めました。



また、この頃から早朝に体育館等で、基礎体力向上のため素振りや打ち込み、走り込みなど一人稽古にも取り組みを始め、現在も続けております。

今回寄稿の機会をいただき、甚だ僭越ではございますが、審査に対して取り組んできたことを記します。

私は、今までの審査では、早く良い技を打ちたいという気持ちが強すぎて、強引に有効打突

を取りに行く立合いが多く、溜りがなく姿勢も崩れていました。そのため稽古で心掛けたことは「構え」「合気」「打ち切る」を意識することでした。

「構え」については、左拳を臍の前にしっかりと収め、従来前後に広がった足幅は左膝を含めた左足全体を意識することで狭め、懐は左肘の締め具合と胸の張りも含め広くするようにしました。

「合気」については、遠間から触刃の間合、交刃の間合までの攻め合いの中で合気になり、溜をつくり打突の機会を捉えることを意識しました。特に初太刀を大切にされた稽古を繰り返すことによって、相手を冷静に見ることができるようになり、審査当日、良い立合いができたように思います。

「打ち切る」については、これまで竹刀の打突部を相手の打突部位に当てに行くような剣道を続けていたため、振りかぶりが小さく身体が止まってしまうことがたびたびありました。普段から稽古をつけていただいている先生方からも「打ち切る」という指摘を受けていましたが、なかなか改善できません

でした。そこで、左拳の振りかぶりや、重心移動を心掛けて、一本を打ち切るようにしました。以上が、審査において心掛けたことです。

また、高段者稽古会での立合いの時に、各先生方から助言を賜り、自分自身では判らなかつたことをご指摘いただき、大変勉強になりました。

審査当日は、稽古での取り組みを表現することに集中し、立合いの相手と合気になって無心の技を出せたことが良かったと思います。実際には、初太刀の技ぐらいまでの記憶しか残っておりませんでした。後でビデオを見て振り返ると、良い構えでの確かな技が出ており、取り組んできたことが実を結んだと感じました。

これまで目指してきた八段という大変な名誉をいただき、改めて身の引き締まる思いとともに重責を実感しています。



これからも「万里一空」の教えを胸に精進してまいりたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」に参加して

白山市 中 徹

「第36回全国健康福祉祭」剣道交流大会が10月19〜20日鳥取県米子市の鳥取県立武道館にて行われました。本大会に県代表として出場した選手は以下の5名です。

- 先鋒 富田 東(金沢市)
- 次鋒 中 徹(白山市)
- 中堅 垣内 軌悦(白山市)
- 副将 中川 泰一(金沢市)
- 大将 竹野内孝穂(加賀市)

大会は全国から集った67チームが16ブロックに分かれて予選2試合を戦い、各ブロック1位のチームが決勝トーナメントに進みます。

石川県チームは、予選1試合目「さいたま市」と対戦し、先鋒・次鋒・中堅の3連勝で3-0で勝利しました。2試合目は「福岡市」と対戦し、接戦になり

ましたが惜しくも1-2で負けて、昨年に続きリーグ2位で惜しくも決勝トーナメント進出は叶いませんでした。決勝は地元鳥取県Aと福島県の対戦となり、先鋒福島県が勝ちましたがその後鳥取県Aが逆転し優勝しました。決勝戦の後お互いのチームが健闘をたたえ合い、会場は満場の拍手につつまれ感動しました。

私自身5月の選手決定から本大会までの間、「全国大会で勝つ」という一つの大きな目標が出来て、何時にも増して充実した日々を過ごす事ができました。

大会出場にあたり激励を頂いた南会長をはじめ剣道連盟の皆様、ゆーりんピック会員の皆様、



引率として色々お世話頂いた宮谷先生、そして何より一緒に戦った選手の方々に深く感謝とお礼を申し上げます。これからも厳しさ・難しさの中にある楽しさを感じながら、稽古に励んでいきたいと思えます。

女性委員会活動報告

委員 至極英代

10月12日(土) 14時〜16時、小松市立芦城中学校武道場にて、令和6年度女性剣道研修会が開催されました。剣道を愛好する、県内の女性剣士16名が集い、震災後の生活における苦労や近況を語り合いながら、和やかに会が始まりました。

初めに、西尾ゆか氏より、「体づくり」けがの予防、体力維持」というテーマのもと、剣道に向き合う自分の体について改めて見直す時間が設けられました。年齢とともに固くなっている筋肉をどのようにほぐし、ケアしていくか。



運動前後の筋肉のほぐし方や、自身との身体との向き合い方、運動パ

フォーマンスがより良くなる筋肉の使い方などについて教えていただきました。

参加者は、互いに、研修会当日の身体の状態を今一度確認し、自分に合った体のメンテナンス方法を探るべく、様々な質問をしたり、実際に教わった体ほぐし体操を行ってみたりして、「また、続けて剣道ができる身体づくり」への意識を高めていきました。

その後、防具をつけて行われた剣道稽古会では、基本稽古から始まり、地稽古までしっかりと良い汗を流すことができました。稽古は、各地域で各々行っているものの、女性同士、剣を交える機会が少ない方も多く、お互いに勉強し合える良い時間となりました。

今回参加できなかった方におかれましては、次回の参加をお待ちしております。



居合道 講師招聘講習会
居合道委員会

全日本居合道委員長 草間純市
居合道範士をお迎えして、10月5
日(土) 鶴来武道館、6日(日)
啓武館剣道場において、石川県会
員の他、福井県から二日間で延べ
53名の参加者の下に開催されまし
た。



開会にあたり、南会長からの挨拶で、講師への謝辞と先の能登半島地震に際し、全剣連を通じて全国・海外から沢山の義援金を頂戴したことへの感謝と義援金配分についての報告、被災地が先月の豪雨災害で更に被災した悲しみの中、能登地区における稽古会の再開、全日本都道府県対抗少年優勝

杖道 講師招聘講習会
杖道委員会

12月7日(土)、8日(日)
の両日にわたり松任総合運動公園啓武館剣道場において、埼玉県より杖道教士八段 上田花代子先生をお迎えして杖道講習会を開催しました。
受講生は、石川県・富山県の会員の他、福岡県、熊本県から二日間で延べ54名が参加しました。

大会での中学生の部での準優勝等、会員各位の努力による成果が見られ、県連挙げての復興・復旧に取り組んでおり、居合道委員会との励ましの言葉がありました。
本講習会は全日本居合道大会の強化稽古と県内会員各位のレベルアップを図るため、試合・演武に臨む所作事、心の有り方、各技のポイント解説、選手を対象とした試合稽古、基本動作・基本稽古に基づく実技(演武)等を繰り返して行いました。
参加者一同大量の汗を流す充実した二日間となりました。



講習会では、
○稽古に当たつての基本動作の留意点
○中央、地区講習会で新たに公開された実技上の留意点
○昇段審査受領に当たつての修煉すべきポイント等
解説を交えた細部にわたる実技指導を頂き、今後の技術向上に繋がる充実した内容となりました。
また、本講習会には小学3年生1名が親子で参加、杖道会の更なる発展に希望と勇気を与えてくれ、会場全体が気迫のこもった緊張感のある講習会となりました。



各種表彰 (稽古納め)

文部科学大臣表彰

【生涯スポーツ功労者表彰】
南 信廣 (県剣連会長)



(全国受賞者代表で挨拶する南会長)

(公財) 全日本剣道連盟表彰

【剣道有功賞】

鈴木庸雄 (県剣連審議員)

【少年教育奨励賞】

津幡少年剣道教室

畠山武道館少年剣道教室

(公財) 日本スポーツ協会表彰

【公認スポーツ指導者賞】

富田 東 (金沢市剣連)

石川県知事表彰

【いしかわ生涯スポーツ功労者表彰】

北野 優 (県剣連顧問)

(財) 石川県剣道連盟表彰

【少年剣道教室指導者表彰】

小西 博 (小松桜木剣正会)

山本浩孝 (辰口武道館)

山田昌宏 (鶴来少年剣道教室)

谷口千種 (此花少年剣道教室)

下崎良智 (鶴ヶ丘少年剣道教室)

山本 剛 (七尾市少年剣道教室)

宮崎芳行 (輪島少年剣道教室)

【会長表彰】
全国高校総体剣道個人優秀選手賞

森 健真 (羽咋工業高)

全国教職員剣道大会個人優秀選手賞

高西 祥 (津幡高教員)

全国中学校剣道大会団体優秀選手賞

桜木佑圭 (中能登中)

全国都道府県対抗少年剣道優勝大会

準優勝
竹津裕真 (宇ノ氣中)

小川倫太郎 (小松桜木剣正会)

尾崎慶史郎 (宇ノ氣中)

中村 尊 (宇ノ氣中)

桜木佑圭 (中能登中)

佐味真優 (中能登中)

土島光葵 (中能登中)

全国警察官剣道大会準優勝

後藤拓真、大田貢平、山崎輝也

山崎潤也、藤井力也、北井滉之輔

高見将吾

【感謝状】

北信越国民スポーツ大会運営協力

(株) アイ・オー・データ機器

【全国大会等記録】(7~12月)

第16回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

7月15日、日本武道館

▽回戦 静岡 ③-2 石川

第71回全国高等学校剣道大会

8月3~6日、大分レゾナック武道

◇男子団体▽予選リーグ

東海大札幌 2-2 羽咋工業

敬徳(佐賀) ④-0 羽咋工業

◇女子団体▽予選リーグ

三重(三重) ②-1 金 沢

金 沢 ①-0 久御山(京都)

▽決勝トーナメント1回戦

明豊(大分) ③-0 金 沢

◇男子個人

森 健真(羽咋工業) ベスト8

山越 梓(市立工業) 一回戦敗退

◇女子個人

藤田日心(金沢) 三回戦敗退

氣谷妃風(金沢) 一回戦敗退

第45回北信越中学校剣道大会

8月7日、小千谷市総合体育館

◇男子団体(決勝トーナメント)

▽準々決勝

宇ノ氣 ③-1 北辰(新潟)

▽準決勝

松陵(福井) 代②-2 宇ノ氣

◇女子団体(決勝トーナメント)

▽準々決勝

宇ノ氣 ①-0 燕(新潟)

中能登 ②-0 呉羽(富山)

▽準決勝

川中島(長野) 代①-0 宇ノ氣

中能登 ②-1 夢想塾(長野)

▽決勝

中能登 ③-0 川中島(長野)

◇男子個人

第三位 竹津裕真(宇ノ氣)

第五位 中村 尊(宇ノ氣)

◇女子個人

第二位 星野優月(宇ノ氣)

第三位 佐味真優(中能登)

第五位 東 双羽(宇ノ氣)

第66回全国教職員剣道大会

8月11日、茨城県神栖市防災A

◇男子団体(トーナメント)

一回戦 石川 ③-0 青森

二回戦 石川 ②-1 大分

三回戦 茨城 ③-0 石川

◇男子個人

高西 祥 ベスト8

◇女子個人

高木夏海 二回戦敗退

第54回全国中学校剣道大会

8月18~20日、新潟県東総合SC

◇男子団体▽予選リーグ

関(東京) ①-0 宇ノ氣

宇ノ氣 ②-1 清水(福島)

◇女子団体▽予選リーグ

中能登 ⑤-0 藤坂北翠館(青森)

中能登 ③-0 郡上東(岐阜)

▽決勝トーナメント1回戦
中能登代①-1 鶴崎(大分)
▽準々決勝
壬生(栃木) ③-0 中能登
◇男子個人
竹津裕真(宇ノ気) 二回戦敗退
尾崎慶史郎(宇ノ気) 二回戦敗退
◇女子個人
土島光葵(中能登) 二回戦敗退
星野優月(宇ノ気) 二回戦敗退

第45回北信越国民スポーツ大会

8月25日、金沢市総合体育館

◇成年女子

石川③-0長野 石川1-1富山
石川1-1新潟 福井②-1石川

※石川は二位

◇少年男子

石川2-2新潟 石川②-1長野
石川②-1富山 福井②-0石川
※石川は二位(本大会出場)

◇少年女子

石川③-1富山 石川1-1新潟
石川②-1福井 石川②-1福井
※石川は二位(本大会出場)

第70回全日本東西対抗剣道大会

9月15日、高松市総合体育館

▽男子11将

夏井(宮崎)メコー 杉本卓也

▽男子18将

小川(香川)メー 星野敏之

第78回国民スポーツ大会剣道大会

9月28-30日、神崎市中央公園体育館

◇成年男子

一回戦 石川 ②-0 福島
二回戦 宮崎 ③-1 石川

◇少年男子

一回戦 福岡 ④-0 石川

◇少年女子

一回戦 岐阜 ②-0 石川

第58回全日本居合道大会

10月19日、東京武道館

▽五段の部

二回戦 木村(東京) 0-③ 田中 甚

▽六段の部

一回戦 大場(大阪) 0-③ 西村真人

▽七段の部

二回戦 作田剛也 ③-0 大岡(鳥取)

三回戦 原田(神奈川) ③-0 作田剛也

※都道府県対抗順位27位

第72回全日本剣道選手権大会

第63回全日本女子剣道選手権大会

11月3日、日本武道館

▽男子二回戦

牛島(大阪)メー 後藤拓真

▽女子二回戦

亀井琴葉 メー 東堅(愛知)

▽女子二回戦

岩本(長崎)メー 亀井琴葉

第72回全国青年剣道大会

11月9-10日、東京武道館

◇男子団体

一回戦 三重 ②-1 石川

◇女子団体

二回戦 愛知 ③-0 石川

中央審査会合格者

◇剣道

▽八段 清田 敬夫

▽七段 表 克寿

山越 徹

亀井 賢一

久保 洗旗

山田 潤

小西 健太

駒口 雅子

北村一二三

中村 秀樹

黒本 晋一

鍋島 正則

加藤 康夫

上村 康夫

中西美智子

◇居合道

北川裕美子

◇教士

◇教士

◇教士

◇教士

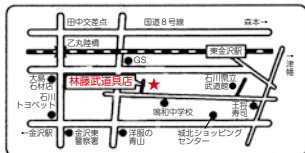


林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudougu.jp/>
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



金沢市上荒屋7丁目67 TEL249-8233
〒921-8065 FAX249-9139